

## 2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 23 日

所属	政策情報学部	職名	教授	氏名	箕原辰夫
研究課題	情報表現に関する複合的な研究				
研究キーワード	情報学、文字学	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	10. 人や国の不平等をなくそう	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	4. 質の高い教育をみんなに	16. 平和と公正をすべての人に	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>文字学については、古代メソポタミアから現代までの音節文字についての断片的な系譜を調査している。既にシュメル・アッカド朝の楔形文字については、2020 年度研究ノートを発表したが、引き続き、インド文字への影響についてこれまで発表された様々な学説を紹介する研究ノートを 2021 年度に発表した。これから、引き続き研究ノートに検証した結果などを発表する予定にしている。リアルタイム制御系での予測を伴う誘導表示系のシステムについては、進展がなく、過年度に購入したドローンを使って検証を行なう予定でいる。メディアの計算については、Jetson Xavier を購入する予定であったが、以前より使っていた Windows 搭載の計算専用 PC の HDD が壊れたことによって、新機種を購入することになり、該当の機器を購入できず、2022 年度に繰越しとなった。なお、セミナーで扱った Julia プログラミング言語についての発表を行なった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>なし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>音節文字の系譜(3): 楔形文字から初期のインド音節(アブギダ)文字へ、箕原辰夫、単著、千葉商科大学国府台学会紀要、第 59 巻 2 号、pp.191-204、2021 年</p> <p>【学会発表等】</p> <p>Julia によるプログラミング教育について、CIEC PC Conference 2021、2021 年 8 月 22 日、オンライン開催</p> <p>3. 主な経費</p> <p>以前より使っていた Windows 搭載の計算専用 PC の HDD が壊れたことによって、新機種 Razer 3070 を購入した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>なし</p>					

(本文は 2 ページ以内にとめること)